

「令和6年度 阪南2区北側海浜緑地におけるアマモ移植会」の概要

- 日 時 令和6年3月24日(日) 9:00~12:00
- 場 所 阪南2区北側海浜緑地(岸和田市)
- 主 催 CIFER・コア、NPO 法人大阪海さくら
- 参加人数 40名(NPO 法人大阪海さくら 5名、CIFER・コア 3名、東亜建設工業(株) 15名、センコー(株) 5名、鴻池運輸(株) 1名、東洋建設(株) 2名、総合水研究所 3名、ほか一般の方)
- 活動内容 9:30 アマモの移植作業
(アマモ育苗キットからアマモ育成ボックス4基、コンテナ1基へ移植)
10:00 護岸の清掃活動
11:00 アマモ育成ボックス4基を水深1mの海底に設置
コンテナ1基を人工干潟に設置
12:00 解散

○概要

CIFER・コアとNPO 法人大阪海さくらは、毎年、阪南2区でアマモの移植活動を行っています。

今年も、アマモの里親となった皆様が各家庭で発芽させた育苗キットを持ち寄り、育成ボックス4基に移植したのち、ダイバーが北側海浜緑地南東角の海底に設置しました。また、別のコンテナ1基にも移植して、人工干潟付近の海底に設置しました。

当日は、多くの里親や企業の皆様が来られ、無事、移植を終えるとともに、護岸の清掃活動にもご参加いただきました。

今年は、種の採取時期や気温などに悪条件が重なり、アマモの発育が悪かったのですが、育成ボックス4基+コンテナ1基分のアマモの苗は確保することができ、これから順調に生育していくことを願っています。なお、海底への設置作業中に、昨年に移植したアマモが夏を越して生き残っていることが発見され、この海域へのアマモの定着の期待も持つことができました。



▲護岸の清掃活動の様子



▲CIFER・コアが育てたアマモ苗



▲育成ボックスに移植した状態



▲育成ボックスを海底に設置